

～ 七福猫誕生5周年記念事業 ～

国内外の観光客に人気のある下町の商店街。その象徴である「七福猫」にまつわる「猫フェスタ」を開催し、スマホ向けアプリを活用して宣伝効果を高めた。また、商店街の人々の顔が見える動画配信で、来街者を気兼ねなく個店へ誘導し、得意客になってもらえる工夫を講じた。

所在地：東京都台東区谷中3-13-1
TEL：03-3822-2315 FAX：03-3822-2317
URL：<http://www.yanakaginza.com/>
組合員数：60名
商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

J R日暮里駅西口より徒歩5分。食料品、雑貨、生活用品など60軒以上の個性的な店舗が並び、どこか懐かしい雰囲気が漂う商店街。車が進入できないため、のんびりと食べ歩きができる。「七福猫」という木彫りの像がパワースポットとして紹介されてから観光客が増えたが、素通りが大半のため、固定客となってもらえる仕掛けを模索していた。そこで本事業では、「猫の町」の特徴を打ち出すイベントを行って、来街者が立ち寄りやすいきっかけをつくり、滞留時間を延ばすことで個店の売上増加を図った。



実施した事業の概要

①「Happy☆やなか猫フェスタ」の開催（平成26年11月22日～24日）

1) フォトコンテスト「吾輩は谷中猫である」

谷中で撮影された猫の写真を一般公募し、Facebookに掲載して「いいね」の獲得数が多い作品を表彰し、写真をパネル展示して、来街者を楽しませるとともに、口コミでの情報拡散を図った。

2) 七福猫福引「七福猫誕生プレゼント」

福引では、抽選券に「千社札」を使い、下町らしさを演出。七福猫がデザインされたグッズを景品にすることで、個店での買い物を誘った。

3) タヤけどんだん「しあわせ猫舞台」

タヤけどんだん（日暮里駅から商店街に下る階段の名称）の広場で、「猫」にまつわる曲・演目・挿話を入れたチンドン屋、落語家、ミュージシャンなどのパフォーマンスを行い、3日間で述べ46,800名もの家族連れや若者が来街した。

②スマホ向けARアプリの活用

現実の風景に情報を載せて表示する技術を使い、街区内の特定の個所にスマホのカメラを向けると、谷中をモチーフにしたアニメキャラクターと一緒に写真が撮れるようにしたところ、多くの写真がSNSで広まった。

③プロモーションビデオの作成

店主、従業員、買い物客らが楽しく踊る動画を撮影し、YouTube等で配信。約2,600回もの再生があり、ビデオを見て来街する人も見受けられた。



成果と成功の要因



今回の「Happy☆やなか猫フェスタ」は、青年部と女性部が中心となり、中小企業診断士の指導を受けて課題を抽出し、効果を想定して計画・実行した。入念な打合せ等が功を奏して「七福猫」の認知度が高まり、リピーターを増やすことができた。またイベントに加え、スマホ向けのARアプリを活用したことで、SNSを通じて更なる宣伝効果が生み出された。さらに、プロモーションビデオを配信したところ、海外からも注目を浴び、ルーマニアの日本大使館から、大学での日本文化の紹介に使いたいとの申し出があった。事業後に複数の組合員店舗から売上が増えたとの声が聴かれ、谷中銀座の更なる知名度向上につながったと手応えを感じている。

今後の取り組み

今後は、「猫の町」としてのブランド化をさらに進めるため、商店街の公式猫キャラクターを一般公募して決定する予定。また従来より開催していた商店街の夏祭りをリニューアルし、「ひゃっこい祭り」と題して、夏の暑さを和らげるコンセプトから企画を打ち出し、近隣の住民を含めて来街を促していく。さらに東京オリンピック開催に向け、街区内の設備表示を外国人にもわかりやすい内容に変更することを検討しており、多くの観光客を呼び込み、リピーターになってもらえるように取り組んでいきたいと考えている。